



りんくう総合医療センター「国際診療科」

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

ホームページ (<http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/>)

多くの外国人患者が来院する当センターは、関西国際空港からの救急医療を必要とする患者の搬送先病院にも指定されています。それらの外国人患者への対応のため、語学が堪能な医師を中心に平成18年に開設した「国際外来」は、昨年10月に3ヵ国語を話せる「国際医療コーディネーター」2人を加え「国際診療科」として改めてスタートしました。

現在は63人のボランティア通訳が、月～木曜日にシフト制で勤務し、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語の4言語に対応した「通訳サービス」を提供しています。(タガログ語に対応できるスタッフもいますので、必要なときは相談してください。)

日本語が不自由な患者さんが来院したときは、受付・診察・検査・会計・薬の受け取りにボランティア通訳が付き添いサポートしています。また、日本語が多少わかる患者さんでも、服薬時の注意や会計など細かなやりとりなどがわかりにくいときには、時間の許すかぎり通訳が付き添い、フォローするように努めています。

訪日中の外国人が来院した場合に海外の保険会社とメールやFAXのやりとりをしたり、患者さんの母国からかかってきた電話に対応したり、日本人の患者さんでも旅行先から英語の診断書を持って帰ってきたり、配偶者が外国人で日本語がわからない場合だったりなど、院内にはさまざまな外国語に関する業務が発生します。「国際診療科」は院内通訳サービスのみならず、これらの業務の調整窓口となっています。

また外国人が国際的に評価の高い日本の医療サービスを安心して受けられるように、昨年厚生労働省が支援事業として新設した「外国人患者受入れ医療機関認証制度」を2月に受審するなど、文化や言語の壁を越えた医療サービスを向上させるべく病院全体として取り組んでいるところです。

